

# 『Phycological Research』の完全オンライン化と 学会事務委託に関する進捗と今後の方針

会長 河地 正伸

## はじめに

本学会では、現在、英文誌『Phycological Research』について、冊子体を廃止し、完全オンラインジャーナルとして運用することを検討しております。これは、前事務局、英文誌編集委員会、前評議員会から議論が始まり、現体制に引き継がれました。2025年3月に開催された沖縄大会での総会では、冊子体廃止と完全オンライン化の必要性について説明、移行について前向きに検討することを審議頂き、総会に参加された会員の皆様に承認頂きました。同時に、学会事務局の負担軽減を目的とした学会事務業務の一部外部委託を検討することについても、同様に承認頂きました。

## 冊子体廃止と完全オンライン化の必要性

総会に先立ち、会長挨拶にて冊子体廃止の必要性について説明しました。本学会は、近年、会費収入が漸減傾向にあり、支出超過により繰越金を取り崩しながら運営している状況です。加えて、2027年以降の英文誌契約更新において、契約料の大幅な値上げが予想されています。2025年度現在、繰越金は10,824,625円ありますが（本号2025年度一般会計予算より）、仮に会費収入が一定で、契約料が1.5倍に値上げされるとすると、繰越金は2029年度には0となるのが試算されています。このような背景のもと、総会後に事務局では2026年度からのオンライン化を目指して検討をはじめておりました。しかしながら、2026年度からの移行は延期して、2027年度からの実施を目指して検討することにしました。その理由ですが、当初、出版元であるWileyより「2026年度からの移行に向けては、契約変更を2025年10月までに行えばよい」との説明を受けていましたが、その後、5月の連休明けに、別のWiley担当者から、2026年度から冊子体を廃止するには、契約変更を2025年5月末までに行う必要があるとの連絡が入りました。契約内容の精査、他社との比較等を十分に行う時間が確保できず、評議員会での諮問にも間に合わないことから、Wileyから提示された2025年5月末の契約変更は行わない判断をしました。これにより、スケジュールを見直して、以下のように、2027年度からの冊子体廃止、完全オンラインジャーナルとしての運用を目指して検討を進めてまいります。

## 新たなスケジュール

2025年5～7月：和文誌藻類73巻2号の本稿にて経緯を説明し、会員からの意見を募集（締切：7月末）  
9月まで：契約内容の精査および他社との比較調査を並行して実施（必要に応じて和文誌藻類73巻3号で進捗を報告）  
10～12月：評議員会にて検討結果を報告・諮問（必要に応

じて次の総会にて審議）

2026年1～3月：評議員会の諮問結果をもとに契約内容を確定し、Wileyと契約締結（この契約締結は2026年4月となっている）

## 事務業務の外部委託とその意義

事務局が担う学会運営業務は年々煩雑化しています。会員情報の管理、会費請求・入金確認、名簿作成、雑誌発送、財務処理、出版関連の調整など、膨大な業務を限られた人員で支えている現状は、望ましい運営体制とは言えません。事務局の業務負担を軽減し、持続可能な学会運営体制を構築するために、学会事務の一部の業務を外部業者に委託することを検討したいと考え、総会にて提案しました。他学会においても事務委託は一般化しており、業務の効率化、情報管理の安全性向上、銀行口座や個人情報の管理負担軽減など、多くの利点が示されています。

現在、事務局では、外部委託に向けた情報収集、委託内容や費用見積もり取得等の作業を進めているところですが、事務委託には、年間80万円程度の支出が見込まれています。幸いにして本学会には現時点で一定の繰越金があり、Wileyとの現契約のもとで、冊子体廃止が1年延期されたとしても、ただちに赤字に転落するような状況ではありません。業務の外部化・効率化により、事務局の時間的・精神的余裕を生み出すことができれば、新たな学会活動の企画、会員サービスの向上、他学会との連携強化といった取り組みにも注力できる体制が整います。これは学会自体の活性化や会員数の増加にもつながると考えています。

以上の理由により、冊子体廃止と完全オンライン化の延期を受けつつも、持続可能な学会運営に向けた第一歩として、2026年度を目標に事務委託の実現に向けた準備を進めることを、会員の皆様にはご理解くださいますよう、改めてお願いいたします。今後、事務局の学会運営に効果的で、具体的な委託内容について、評議員会にも共有、連携しながら協議を進めてまいります。次の総会にてその詳細を報告できるようにしたいと考えています。

以上について、ご意見、ご懸念点、ご要望、あるいは励ましのお言葉等ありましたら、以下までご連絡ください。私のメールアドレス（学会ホームページに記載されています）に直接送っていただいても構いません。締め切りは2025年7月31日とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本藻類学会事務局メールアドレス：  
japanesesocietyofphycology@gmail.com